



SOGIの視点でひらく 共に生きる社会の地図

性的指向と性自認 (SOGI) という視点から、家族・教育・職場・医療・スポーツ・政治など社会のさまざまな領域を読みとく入門書。当事者から支援者、学ぶ人まで、従来の見方を転換し、誰もが排除されない、共生の見取り図を描くはじめての一冊。

性多様性から読みとく社会

釜野さおり、杉浦郁子：編著 勁草書房

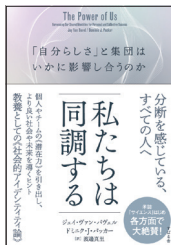
A5判並製 256頁 2025年11月刊 ISBN: 9784326603824 2,970円



「よい」「わるい」は いつも他人が決める。

70年代以降生まれの俳優、ミュージシャン、詩人など、移民2世・3世クリエイター21人が、自己の存在意義や葛藤、社会の偏見などを繊細かつ巧みに表現。編集は、インド系移民の若手作家ニケシュ・シュクラ。J・K・ローリング&ゼイディー・スミス推薦。

よい移民——現代イギリスを生きる21人の物語
ニケシュ・シュクラ：編 柘木清吾：訳 創元社
四六判並製 328頁 2019年7月刊 ISBN: 9784422360119 2,640円



共生社会のヒントにもなる 社会心理学の処方箋

社会的動物である人間の脳は、そもそも他者と「同調」するようにできているという。同調というたとえば「同調圧力」といったネガティブ用語が思い浮かぶが、大自然の中で集団が生き残るうえで必要な獲得能力だった。混迷を極める現代世界に希望を与える本。

私たちは同調する——「自分らしさ」と集団はいかに影響し合うのか
ジェイ・ヴァン・パヴェル、ドミニク・J・パッカー：著 渡邊真里：訳 すばる舎
四六判並製 448頁 2023年3月刊 ISBN: 9784799111222 2,750円

* 価格は10%税込、2026年9月のものです。

出版者クイズ

なんていう名前の出版社かわかりますか？

①時は1960年代、安保闘争真っ只中。右でも左でもない、新たなヒューマンイズムの創造を目指して総合月刊誌が生まれた。それがこの出版社のスタートとなる。70年代には婦人誌を創刊、第一号は浅丘ルリ子表紙を飾り、同時期に手塚治虫、横山光輝、藤子不二雄といった大巨匠が揃って連載するコミック誌も誕生させた。かと思えばゲーテ全集全15巻(1978年)、ヴィクトル・ユゴー文学館全10巻(2000年)といった重厚な書籍を世に送り出してきた。

②現社長は建築業界と医療業界を経て2008年に35歳で中途入社。20代はバンドに明け暮れ、都内ライブハウスを転々とし、鳴かず飛ばずの日々。大抜擢で社長に就任したのは2024年6月。現在はゴルフにハマり、これまた鳴かず飛ばずの毎日を過ごしている。

* クイズの答えは次号(33号)=梓会加盟出版社を紹介してゆきます

前号のクイズの答え

自分のことばで物考える人を育てる

三省堂

本年4月で創業145年を迎えた三省堂は、辞書と教科書を中心に、長きにわたって出版事業を続けてきました。日本初の百科辞典である『日本百科大辞典』全10巻(明治41年~大正8年)、日本初の学習古語辞典『明解古語辞典』(昭和28年)など、近代日本の出版文化史に残る刊行物を発行してきました。第二次大戦前は地図も出版しており、そのうちの一つは森鷗外の小説「かのように」に「三省堂の世界地図」として登場します。本屋さんの三省堂書店とはルーツを共にするものの、100年以上前の大正4年以降、資本、経営ともに別会社です。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にくれらるお宝本を、こっそりお教えします

生きとし生けるもの、みんな
ほかの生命と〈生き、生かされて〉いる。

今回のテーマは、**共生する社会**。

世界中で分断が叫ばれ、いっぽうで地球規模の危機が身にせまる今こそ、
つながりあう未来の社会を
模索します。



32号(2026年9月)
出版梓会

データダウンロードはこちら⇒





日本とロシア、北方領土での 知られざる民間交流の歴史

終戦直後、北方領土のある島に日本人とロシア人が「共生」していた一時期があった。当時を描いた表題作に加え、日ロ双方の元島民たちとその子孫へのインタビューを収録。歴史の表舞台では描かれてこなかった民間交流の実態が明らかになります。

舟——北方領土で起きた日本人とロシア人の物語
マイケル・ヤング：著 樫本真奈美：編・訳 皓星社
四六判並製 320頁 2024年7月刊 ISBN:9784774408316 2,530円



イスラームのことが知りたい！ 疑問にしっかり答えます！

現在、世界の4人にひとりがイスラーム教徒。いったいどんな宗教なの？ 女の人がかぶっているのは何？ テロや難民の問題って、どう考えればいいの？ いま話題のモスク（礼拝所）・東京ジャーミイの案内人、下山茂さんにやさしく教えてもらおう！

モスクへおいでよ
瀧井宏臣：著 小峰書店
四六判上製 149頁 2018年11月刊 ISBN:9784338321020 1,650円



平和とは「選べる」こと 渡部陽一が示す戦場のリアル

戦場は「日常」でできている。ウクライナやイラク等を取材する戦場カメラマン渡部陽一氏が教える、ニュースやSNSではわからない戦場の本当の姿。貧困や孤独が生む分断を知り、世界とつながること。平和と共生のために僕たちができることを提示する一冊。

晴れ、そしてミサイル
渡部陽一：著 ディスカヴァー・トゥエンティワン
四六判並製 224頁 2023年10月刊 ISBN:9784799329801 1,760円



新しい共生を 地域で育む実践を追ったルポ

保育園、認知症デイホーム、地域の寄り合い所がひとつ屋根の下に。子どもも高齢者も地域の人も、支え合いながら暮らす「また明日」の日々を描いた感動のルポ。特設ページはこちら↓
<https://fuumeisha.co.jp/pages/mata-asita>

新しい時代の共生のカタチ 地域の寄り合い所 また明日
太田美由紀：著 風鳴舎
四六判並製 218頁 2019年12月刊 ISBN:9784907537234 1,540円

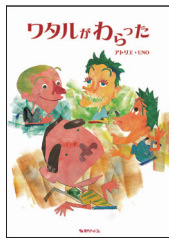


「読む」はひとつじゃない 世界の見え方に出会う本

「正しい読み方」なんてない——難読症、過読症、失読症、認知症など、さまざまな読字の特性や困難をもつ人々の体験を通して、「読む」ことの意味をとらえなおし、自分とは異なる世界の見え方や多様なあり方への理解を深めるきっかけとなる一冊。

読めない人が「読む」世界
マシュー・ルベリー：著 片桐 晶：訳 原書房
四六判上製 380頁 2024年3月刊 ISBN:9784562074044 3,300円

内側に折る



特別支援学校で子どもたちの 願いが生みだしたヒーロー

生まれつきの障害のため、意思の疎通も難しいワタル。そんな彼を笑わせようと、体を動かすのは苦手だけど頭を使って活動する「右脳クラブ」のみんながそれぞれの個性と力を出し合って生まれたヒーローが起こした小さな奇跡の物語。

ワタルがわらった
アトリエ・UNO：著 復刊ドットコム
B5判上製 40頁 2025年3月刊 ISBN:9784835459554 2,200円



時空を超える地衣類の旅路へ 科学と思想が交わる驚きの一冊

地衣類をテーマに時空や文化を繋ぐ、詩情豊かな一冊です。植物でも動物でもない「共生」の象徴から、従来のアイデンティティや人新世の課題を問い直します。科学・思想・文学が静かに織りなす、共生的な親密さに満ちた未知なる異国への旅がここに！

地衣類、ミニマルな抵抗
ヴァンサン・ゾンカ：著 宮林 寛：訳 みすず書房
四六判上製 392頁 2023年10月刊 ISBN:9784622096511 4,950円



共生への意識と感謝の気持ちが 芽生える新ジャンルの図鑑

豊かな食生活や便利なくらしは、いきもののおかげで成り立っていることが多い。食事として命をいただくこともあれば、いきものの構造をヒントに、新たな商品を開発することもある。だから、私たちはもっといかなければならない。いきものに「いつもありがとう」と。

それいきもののおかげです図鑑
今泉忠明：監修 ぬまがさワタリ、小豆だるま：イラスト 金の星社
25.3×19.7cm上製 128頁 2026年1月刊 ISBN:9784323075754 4,730円

内側に折る



基礎知識から保全まで 最新の「里山の教科書」

近年、その魅力が注目されつつも、里地里山は減少・荒廃し、様々な問題を引き起こしています。日本人にとって身近な自然環境であった里山について、その景観の成り立ちや生態系、そして役割・機能から保全までを、科学的・歴史的・社会的な視点でわかりやすく解説。

一冊でまるごとわかる「里山」入門
富田啓介：著 ベレ出版
A5判並製 192頁 2025年11月刊 ISBN:9784860648077 2,090円

日本人が一番食べてる果物はバナナ🍌でも自給率は0.1%以下。「まえばしバナナ」はカリウム3倍。道の駅で飛ぶように売れるそう。高くても売れるモノ出てきてるね。

